

ごあいさつ

理事長 上高家 耕一



(元警察大学校
附属警察情報通信学校長)

令和元年5月20日の(一社)全国交通信号工事技術普及協会の定時総会におきまして理事に選任され、理事長に就任いたしました上高家(うえたかや)耕一です。微力ではございますが、当協会の発展に貢献できるよう全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

当協会は、平成21年の設立であります。その立ち上げの際、私もその一端を担わせていただきました。そして、設立から10年経過しようとしていますが、丹下正彦前理事長の下、素晴らしい協会に発展してまいりましたことを大変うれしく思います。この間の丹下正彦前理事長と協会役員、そして会員の皆様のご努力に敬意を表すると共に、心から感謝申し上げます。

当協会は、交通信号施設工事に従事する関係者の技術力向上と交通信号施設工事業界の健全な発展を図ることを目的に設立され、その目的達成のため、平成23年に「交通信号工事士技能検定試験」事業を開始すると共に、いつの日かこの「交通信号工事士」の資格が関係機関において公的に認定されることを期待して取り組みを進めてまいりました。

そして、「交通信号工事士技能検定試験」事業開始から8年後の本年(令和元年)、三重県警察におきまして、「交通信号工事士」を交通信号工事に従事する者に必要な資格として採用され、交通信号工事仕様書にその旨が明記されました。したがって、今後三重県では「交通信号工事士」の有資格者でなければ交通信号工事に従事できないことになりました。全国で初めて「交通信号工事士」資格が公的に認定されたものであります。

今後他の都道府県警察においても、同様に「交通信号工事士」資格が認定されるよう精力的に取り組んでまいります。

ところで、「交通信号工事士」の資格は、学科試験と実務に関する筆記試験を受験し、一定以上の得点があれば取得できます。しかし、資格を取得したからといって、必ずしも現場で求められる技術・技能、いわゆる現場での作業能力を十分に有しているとは言えません。現場での作業に必要な技術・技能を習得し向上させるためには、平素からの訓練と実際の工事現場における経験の積み重ねが必要であります。

今年も「交通信号工事甲子園」が開催されましたが、この競技会は、皆様が平素から習得されている知識や技能を競い合うことにより、確実でしかも迅速に工事ができるよう皆様に切磋琢磨していただくことを目的として実施しておりますが、併せて交通信号工事に係る皆様の実力を工事発注者の皆様にも目に見える形で示すことができますので、今後とも多くの方々に参加して頂きますようお願いいたします。

交通信号施設工事は、交通管制や交通工学はもとより電気、通信、情報、建築、土木等の多分野の幅広い技術、知識を必要とし、道路交通の安全と円滑のバランスを考慮しながら精緻に執り行わなければならない複雑で特殊な工事であり、これらの技術・技能の習得には多くの知識と経験が必要です。

当協会では、知識や技術・技能の習得に役立てていただけるよう、「交通信号工事施工ハンドブック」、「交通信号施設保守点検ハンドブック」、「交通信号工事設計ハンドブック」及び「交通信号工事安全必携」を発行しておりますので、是非、皆様の机上に置いて必要な時に見ていただき、お役に立てていただければ幸いです。

最後に、新体制となりましたが当協会のより一層の発展を図るに際し、私ひとりの力では何もできません。皆様一人一人の力を結集して初めてなし得ることです。理事の皆様はもちろん各会員の皆様にもより一層のお力添えをお願い申し上げます。

平成31年度定時総会を開催

一般社団法人 全国交通信号工事技術普及協会は、令和元年5月20日、東京都台東区において平成31年度定時総会を開催しました。定時総会では、丹下正彦理事長の挨拶の後、「平成30年度事業報告及び決算報告」、「定款の一部改正」が承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、新役員が選任されると共に、総会終了後に開催した理事会では理事長(代表理事)に上高家 耕一(うえたかや こういち)副理事長に高田 邦道(たかだくにみち)、専務理事に古市 光明(ふるいち みつあき)、笠島 浩一(かさじま こういち)、常務理事に川村 久史(かわむらひさし)、高塚 逸夫(たかつか いたつお)が選定されました。

【新役員】

理事長 上高家 耕一

副理事長 高田 邦道

専務理事 古市 光明 笠島 浩一

常務理事 川村 久史 高塚 逸夫

理事 秋山 直樹 石坂 敏明
 上野 武志 押久保 隆行
 栗原 幸弘 後藤 潤
 五島 幹也 塩野 純一
 篠田 泰治 白木 潤
 菅原 良弘 高野 忠雄
 田上 稔 竹野 誠一
 藤橋 一彦 堀野 正明
 町田 賢次 松澤 國彦
 若林 勝司

監事 松原 一朗 横田 喜廣

新任の理事、監事の方は、会員の皆様や業界関係者様から期待される協会運営を展開してゆくとともに、交通信号工事技術の技術的独立性を世間に容認されるよう活動し、業界の健全化と発展に寄与すべく、各地域の中心的な存在として各地域の会員の方々との情報疎通を図っていただき、協会の効率的な運営にも尽力いただきたいと思います。

最後に平成31年度事業計画及び収支予算について報告があり、定時総会を終了しました。

なお定時総会終了後には、国土交通省関東地方整備局企画部技術調査課課長補佐の米沢拓繁様による公共工事の調達、入札、落札方式等に関する出前講座を受講致しました。



丹下理事長挨拶



新役員挨拶

左から 川村常務理事 古市専務理事 高田副理事長 上高家理事長 笠島専務理事 高塚常務理事



懇親会での新理事長挨拶

技術講習会の開催

国土交通省関東地方整備局企画部技術調査課 課長補佐米沢拓繁様の出前講座要旨

- 1 公共工事を取り巻く状況
- 2 公共工事の調達の特徴
- 3 公共工事の入札契約の流れ
- 4 総合評価落札の導入
- 5 総合評価落札方式の概要
- 6 生産性向上・働き方改革の推進
- 7 担い手3法の改正と適切な運用に向けて
- 8 工事の安全対策等について
- 9 コンプライアンスの取組



交通信号工事士技能検定試験

令和元年度 第1種・第2種 交通信号工事士技能検定試験を下記のとおり実施します。

実施日 **令和元年8月4日(日)**

- 試験会場 札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、高松、福岡
- 受験資格 第1種:第2種交通信号工事士取得後5年以上経過していること。
第2種:特に定めません
- 受験料 第1種:正会員社員 9,720円 準会員社員 10,800円 一般 12,960円
第2種:正会員社員 8,100円 準会員社員 9,180円 一般 11,340円
(いずれも消費税込 ※但し、各種ハンドブック代金は含みません)
- 試験科目 学科試験及び実務筆記試験
第1種 当協会出版の「交通信号工事施工ハンドブック」、「交通信号施設保守点検ハンドブック」、
「交通信号工事設計ハンドブック」から主に出题
第2種 当協会出版の「交通信号工事施工ハンドブック」から主に出题
- 受験申込 平成31年4月8日(月)～令和元年7月25日(木)まで
下記詳細につきましては、協会ホームページにてご確認ください。
第1種・第2種交通信号工事士技能検定 実施要領
第1種・第2種交通信号工事士技能検定 試験申請手引
第1種・第2種交通信号工事士技能検定 受験申込書
第2種交通信号工事士技能検定 実務経歴書
- 合格発表 令和元年11月末日(協会ホームページに掲載)

三重県にて、工事と保守の仕様書に交通信号工事士が採用されました！！

携帯用安全必携ハンドブックを発刊しました



この度、交通信号工事安全必携 令和元年度版 を発刊いたしました。
現場への持ち運びが容易なA6サイズで、傷・汚れから守るビニールカバー付きとなっております。

ハンドブックの内容

- ・第一章 総則
- ・第二章 工事現場管理
- ・第三章 工事内容別作業
- ・第四章 その他安全対策・関連法令
- ・別章 産業廃棄物に関する考察

定価
会員価格 1,000円(税別)
その他 1,500円(税別)

交通信号工事甲子園(東日本ブロック大会)

第7回交通信号工事甲子園東日本ブロック大会が令和元年5月28日に埼玉県熊谷市の株式会社アイテック敷地内で開催されました。新理事長の挨拶を皮切りに各社の代表選手たちは、安全を第一とし元気に競技に取り組みました。また、来賓には公益財団法人 日本交通管理技術協会様のご臨席を賜り、交通信号工事士資格の大切さを、ご理解いただく事ができました。

また午前中には、下記の内容を行いました。

- ①フルハーネスの商品説明と試験機を用いた落下体験 (藤井電気(株)様)
- ②高所作業車の事故事例と新製品紹介(株愛知コーポレーション様)
- ③エコモルタルを使った施工体験(株カンドー様)
- ④実機を用いた高度化PICSのシステム紹介(日本信号(株)様)

競技内容と結果

- 内容 ・歩行者用灯器および車両用灯器の取り付け
 ・1区間のケーブル張り上げおよび結線(端子箱含む)
 ・点灯確認



理事長挨拶

結果

賞名	会社名(氏名)
優勝	(株)シンコーワ(三重)
技術部門賞	春日電設(株)(東京)
安全部門賞	常盤電業(株)(青森)
審査員特別賞	(株)東管(東京)
ベスト代理人賞	宮川(株)東管)

交通信号工事甲子園(西日本ブロック大会)

第8回交通信号工事甲子園西日本ブロック大会が令和元年6月3日三重県菰野町の株式会社シンコーワ敷地内で開催されました。来賓には三重県警察本部交通規制課長様と菰野町長様のご臨席をいただきました。

今回の交通信号工事甲子園開催前の平成31年3月には、三重県警察交通信号工事仕様書に「交通信号工事士」の資格を取得した者でないと交通信号工事に携われない旨の条件を明記していただきました。

そのため参加競技者の条件として1班3組が三重県内の工事業者で、しかも全員が「交通信号工事士」取得者、2班3組は西日本の工事業者とする班編成により技術を競い合いました。

個人競技については、分離発注等業界内の変化に対応できるように信号定数設定を競技種目としました。競技結果は以下のとおりでした。

団体競技

賞名	会社名	氏名
西日本ブロック最優秀賞	(株)デューイテクニカル	
三重県内最優秀賞	(株)アサヒ電設	
信号工事最優秀賞	(株)デューイテクニカル	下矢智一
信号工事優秀賞	常盤電業(株)	岡本和史
	(株)アサヒ電設	吉岡龍太郎
	(株)シンコーワ	町田祐樹
	東海信号(株)	野尻真澄



理事長挨拶

個人競技

優勝	(株)北越ティーテック	浦忠幸
準優勝	(株)北越ティーテック	林和幸
3位	東海信号(株)	三宅誠

また、展示ブースには、(株)アイチコーポレーション様、日本信号(株)様、オムロフィールドエンジニアリング(株)様、コイト電気(株)様に協賛いただき、最新機器の展示・説明等をしていただきました。

お問合せ先

〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目1番4号
 一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会事務局
 TEL:03-6659-3586 FAX:03-3846-5582
 URL: <http://www.zenshinko.jp> E-mail: info@zenshinko.jp